

令和8年度 八王子市立柵田中学校 学校経営計画

八王子市立柵田中学校
校長 関山 一樹

I 目指す学校

日本国憲法（26条）、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、東京都教育委員会や八王子市教育委員会の定める教育目標や方針に基づき、地域の公立学校として求められている使命を果たし、「義務教育終了段階で一定水準以上の知識・技能」および「コミュニティの中で生きていく力」をもった生徒を育成できる学校を目指す。

また、開校以来49年の歴史と伝統によって培われてきた本校に対する生徒・保護者の信頼と期待に応えるとともに、市内でも有数の大規模校という特色を生かして、地域運営学校として、地域社会に開かれた教育課程を編成し、生徒・地域・教職員にとって誇りとなる学校をつくる。

教育目標として、以下を掲げる。

- 〈教育目標〉 進んで学習する人になろう（学習）
仕事に精を出す人になろう（勤労）
心身ともに健康で思いやりのある人になろう（健康・思いやり）

II 中期目標と方策

- 1 多様性を理解し思いやりの心を育むとともに、地域で活躍できる場を意図的に設定することで自尊感情を高め、ウェルビーイングの向上を図る。
- 2 生徒の尊厳を保持し、誰もが安心して生活し学ぶ環境を整える。「学校いじめ対策委員会」を中心に、総合的ないじめ対策を推進する。
- 3 GIGAスクール構想（第2期）を踏まえて、教育のICT化の充実を図り、効果的な活用を推進することで、急速に進むAI社会を主体的に切り開いていく生徒を育成する。
- 4 学力向上を目指し、生徒の主体的な活動を重視しながら、指導方法や評価方法の改善を進める。
- 5 不登校の要因や支援ニーズが多様化する中で、公的機関との連携や居場所の確保を通して、すべての生徒たちが人や社会とつながり社会的自立ができるよう支援する。
- 6 学校運営協議会との協働を積み重ねるとともに、小中一貫教育を推進し、児童と生徒が触れ合う機会を重視しながら小中のスムーズな接続を図る。
- 7 特別支援学級設置校、特別支援教室拠点校の特色を活かし、通常学級との連携を図ることで、配慮が必要な生徒を支援していくための環境を充実させる。

III 今年度の重点目標

1 指導力を高め教育活動を実践する教員集団の構築

- (1) 教育公務員として服務を厳守し、その職責を自覚するとともに、組織的な教育活動を推進する。
- (2) 専門性を磨くために、自己研鑽に励むとともに校内研修や教員の学び合いに努める。
- (3) 確実な情報共有のもとでの組織的な活動を目指し、諸会議や各学年、分掌等での報告・連絡・相談・確認を徹底する。

2 生き抜く力を育てる教育活動

- (1) 生活指導
 - ① 基本的な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と協調性を育成する。
 - ② 授業規律(挨拶、時間厳守、授業道具の準備、姿勢など)を徹底する。
 - ③ 一人ひとりが安全で安心な学校生活を送れるよう協働する中で、ウェルビーイングの醸成を図る。
 - ④ 問題行動が発生した場合は、生活指導主任・学年主任を中心に、複数体制で組織的な対応を行う。
 - ⑤ 生徒指導提要进行を基盤とした生徒の心に寄り添った指導と、生徒の判断力を高める指導、保護者との連携に努める。

⑥「いじめ防止対策基本方針」に基づき、「しない・させない・許さない」を基本認識とし、未然防止や早期発見、早期解決に努める。

(2) 学習指導

- ① 1 単位時間の「ねらい」と「振り返り」を明確にするとともに、主体的・対話的な活動を通して基礎・基本の定着を図る。
- ②「ねらい」に基づき、評価基準を明確にし、生徒自身の学習課題の改善に役立つ評価を計画的に実施する。また、指導と評価の一体化を進め、評価結果を次の指導に生かす。
- ③数学科と英語科において、「東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン」に基づいた指導を計画的に実施する。
- ④年 2 回（7 月と 12 月）、生徒による授業アンケートを実施し、生徒自身の学習の振り返りと教員の授業改善に役立てる。
- ⑤各教科や行事等と関連を図りながら、「特別の教科 道徳」を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ⑥「総合的な学習の時間」では、3 年間の系統性を重視して効果的に実施し、主体的に問題解決に取り組み、自己の生き方を考える力を養う。
- ⑦ICT 機器を効果的に活用することで、生徒の自己肯定感、自己有用感を向上させる。

(3) 進路指導

義務教育 9 年間を見通した体系的な学びのもとで中学校 3 年間での計画的なキャリア教育を実施し、望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、「キャリアパスポート」を効果的に活用することで自己の成長や変容を把握し、社会的な自立を図る。

(4) 安全指導

- ①避難訓練や安全指導を計画的に実施するとともに、関係機関や保護者と連携を図り、セーフティ教室や薬物乱用防止教室、引き渡し訓練を実施し自他の健康や安全に対する意識の向上を図る。
- ②体力向上推進計画・健康教育・保健指導・食育を通して、心身の健康の保持増進ならびに体力の向上を図る。

(5) 特別活動・部活動

- ①学校行事等で、達成感や帰属意識、望ましい人間関係を構築し、母校を讃え、誇りに思う心を醸成し、校歌を大きな声で歌う生徒の育成を目指す。
- ②生徒の主体性を重視した自治的な活動を推進することでリーダーシップを育成する。
- ③地域でのスポーツ・文化活動及び学校の部活動を通して心身の育成を図るとともに、社会生活に有用な力を育む。

(6) 特別支援教育

- ①特別支援委員会を中心に、配慮を要する生徒の情報共有を図るとともに、生徒の困り感の早期発見と早期対応に努める。
- ②不登校生徒には八王子市不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、不登校巡回教員や関係機関との連携を図り、個に応じた対応に努める。
- ③特別支援学級や特別支援教室と通常学級の交流を通して、生徒相互の理解を深め、他者を尊重し協力する姿勢を育成する。

3 地域に信頼される学校経営

- (1) 学校運営協議会と連携し、学校と地域の双方向の情報共有と協力体制を充実させる。
- (2) 保護者や地域への情報発信に努め、「開かれた学校」を推進し、信頼関係を醸成する。
- (3) 地域連携推進部を核とし、生徒による地域でのボランティア活動を推進する。
- (4) 生徒の健全育成を目指し、PTA 活動との協働に努める。
- (5) 学校評価(年 2 回)・授業アンケート(年 2 回)・学校公開日のアンケート等を活用した、PDCA サイクルに基づく、学校経営や教育活動の改革・改善を図る。
- (6) 小中連携一貫教育の推進を図り、人との関りを大切に、安全で居心地のよい柵田中学校学区を支える一員としての実践的な態度の育成に努める。